

遅れずに中干しを開始しましょう！

- ☑ 迅速なかん水・排水のために溝切りを実施
- ☑ 異常高温等に備えてケイ酸追肥
- ☑ 畦畔の雑草管理で斑点米カメムシ被害を防止

1 遅れずに中干しを開始し、適正な茎数の確保と根の健全化を図りましょう！

(1) 中干しのポイント

<p>田植後の水管理イメージ</p>	
<p>中干し開始</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 田植え後 25 日に茎数を確認し、茎数が 240～280 本/m² (目標穂数 350 本/m² の 7～8 割)、1 株当たり茎数が 60 株植えで 14～15 本、50 株植えで 17～18 本に達したら直ちに中干しを開始しましょう。 ・ 生育が過剰になりやすいほ場では、目標穂数の 6～7 割で開始しましょう。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="379 1339 895 1637"> <p>○中干し開始適期</p> </div> <div data-bbox="927 1339 1453 1637"> <p>×中干し開始時期としては遅い</p> </div> </div>
<p>中干し終了</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中干しは田面に小ヒビが入り、軽く足跡が付く程度で終了しましょう。 ・ 遅くとも出穂期の 1 ヶ月前には中干しを終了しましょう。 <div style="text-align: right;"> </div>

(2) 中干しの効果

- ① 過剰な分けつを抑え適正生育量を確保する。
- ② 下位節間の伸長を抑え倒伏を防ぐ。
- ③ 土壌中に酸素を供給し根を健全にする。
- ④ 地耐力が高まり収穫作業がスムーズになる。

(3) 中干しの留意点

- ・中干しの開始時期が遅れると生育が過剰になりやすく、倒伏を助長します。

2 溝切りを実施し、中干しの効果を高めましょう！

(1) 溝切りのポイント

- ・溝の間隔は概ね8条ごとに1本を目標として、深さは10cm以上を確保しましょう。
- ・溝と溝を確実に接続し、溝の末端は必ず排水溝につなげましょう。

(2) 溝切りの効果

- ① 迅速な排水が可能となり、中干しの効果が高まる。
- ② フェーン等の緊急時に迅速なかん水が可能となる。

3 ケイ酸の中間追肥で丈夫な稲に仕上げましょう！

(1) ケイ酸追肥のポイント

- ・出穂期 40 日前～1 回目穂肥の時期（出穂 18 日前）にケイ酸質資材を 10a 当たり 20～40kg 程度施用しましょう。

(2) ケイ酸追肥の効果

- ・根の水分吸収力が向上し、葉の温度が上昇しにくくなるため、高温登熟時の品質低下を軽減することができます。

4 畦畔の雑草管理で斑点米カメムシ類の被害を防ぎましょう！

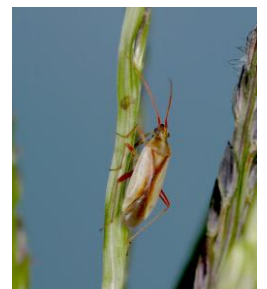
- ・畦畔に雑草が繁茂していると斑点米カメムシ類のすみかとなります。
- ・3週間程度の間隔（雑草が結実しない間隔）で草刈りを行って、斑点米による品質低下を防ぎましょう。
- ・地際から 10cm 程度の高さで雑草を刈ることで、イネ科雑草以外の植被率を高め、イネ科雑草の繁茂を抑えることができます。

6月			7月			8月			9月		
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
	草刈り		草刈り			草刈り			草刈り		

※刈草が用水や河川に流れ出ると、下流の取水や漁業者等に迷惑となります。刈草は用水や河川に流さないようにしましょう。



アカヒゲホリミドリカスミカメ



アカスジカスミカメ

こまめな休憩と水分補給で熱中症対策を！

お問い合わせ：普及課 作物担当 TEL 025-772-3337 Fax 025-772-2612

普及指導センターからの稲作情報について、配信不要の方は問い合わせ先まで連絡ください